



「法隆寺地域の仏教建造物」世界遺産登録30周年記念

第10回

# 世界遺産サミットin斑鳩

～温・故・知・新「世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり」～

## 開催報告





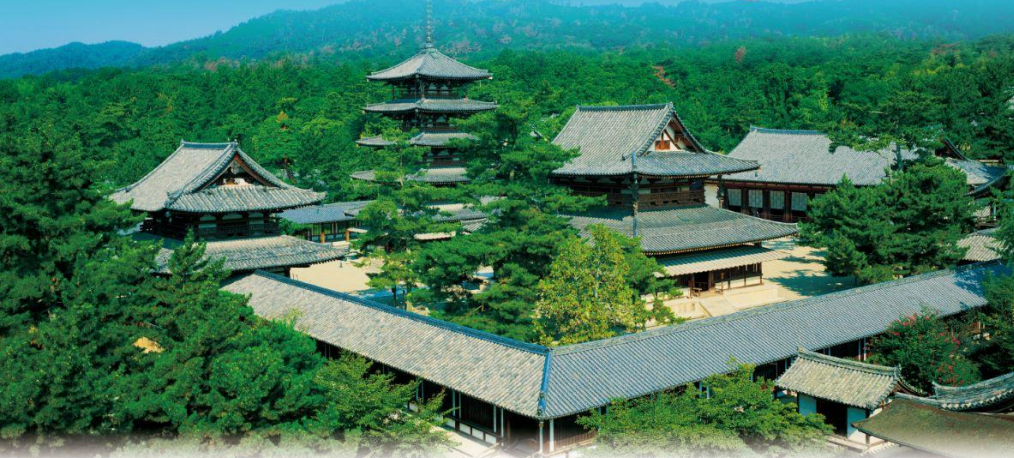
「法隆寺地域の仏教建造物」  
世界遺産登録30周年記念

入場無料  
事前申込  
必須

# 第10回 世界遺産サミット in 斑鳩

～温・故・知・新「世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり」～

2023 10/28日(土)・29日(日)



28日(土) 13:00～16:30 (開場 12:30)

【パネルディスカッション1】 13:00～14:30

歴史から学ぶ 近世から近代における世界文化遺産の観光史

モデレーター 斑鳩町教育委員会事務局 生涯学習課 参事 平田 政彦 氏

パネリスト 京都大学 非常勤講師 森下 恵介 氏

斑鳩市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課 係長 堀 大輔 氏

日光市教育委員会事務局 文化課 係長 北山 建輔 氏

斑鳩博物館 学芸員 白神 典之 氏

【パネルディスカッション2】 15:00～16:30

現在を知る 歴史・文化遺産都市を支える「まちづくり」

モデレーター 京都大学経済学部教授／奈良国立大学名誉教授 麻生 憲一 氏

パネリスト 法隆寺 執事長 大野 正法 師

斑鳩町教育委員会 教育長 山本 雅章 氏

奈良県産業・観光・雇用振興部 観光局 局長 谷垣 裕子 氏

株式会社JTB総合研究所 主席研究員 熊田 順一 氏

29日(日) 9:00～13:00 (開場 8:30)

【サミット会議】

サミット開会式

法隆寺法話 聖徳宗第7代管長／法隆寺第130代住僧 古谷 正覚 師

報告 パネルディスカッション1 森下 恵介 氏

パネルディスカッション2 麻生 憲一 氏

講演 未来を創る

持続可能な観光を考える ～文化遺産とツーリズム産業からの視点～

講師 株式会社JTB代表取締役社長執行役員／UNWTO観光開発委員会アジア太平洋地区代表理事 山北 栄二郎 氏

議長会議

サミット宣言

閉 会



法 話 129日(日)  
ふるや しょうかく  
古谷 正覚 師



講 演 129日(日)  
やまた えいしろう  
山北 栄二郎 氏



【総合司会】28日(土)・29日(日)  
東海運・山陽・九州・西九州 新幹線車内アナウンス担当 阪城 京子 氏



二次元バーコードからお申込ください!  
事前申込  
受付

## はじめに

令和5年10月28日(土)・29日(日)2日間の日程で、法隆寺聖徳会館にて開催した世界遺産サミット。世界遺産が所在する自治体の首長をはじめ、文化財分野や観光分野の有識者などが法隆寺聖徳会館に集結しました。

第10回の節目となる今回のテーマは、「温・故・知・新～世界遺産の普遍的価値の継承と活用をデザインする持続可能な地域づくり～」。世界遺産の保全や観光面での活用の重要性はもちろんのこと、世界遺産を核として地域の特色を活かしながら、地域と調和のとれた「持続可能」な世界遺産のあり方やこれからのまちづくりについて、のべ570人の参加者を前に活発な議論を展開しました。

今回は、当日のようすの写真を交えてご紹介いたします。



開催場所 法隆寺聖徳会館

主催 第10回世界遺産サミット in 斑鳩 実行委員会 ●斑鳩町 ●斑鳩町教育委員会 ●一般社団法人斑鳩町観光協会 ●観光庁  
●一般社団法人世界文化遺産地域連携協議会 ●公益社団法人日本観光振興協会 ●一般社団法人世界文化遺産地域連携協議会 ●奈良県  
後援 ●総務省 ●環境省 ●文化庁 ●歴史街道推進協議会 ●NPO法人世界遺産アカデミー ●公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 ●2025年日本国際博覧会ととも、地域の未来社会を創造する首長連合 ●協力 法隆寺

## パネルディスカッション1

### 歴史から学ぶ 近世から近代における世界文化遺産の観光史

世界文化遺産の現状と課題を見つめなおし、世界文化遺産を将来世代にどのように保存・継承していくべきかについて、4地域の世界文化遺産の近世から近代の観光の歴史(観光史)を事例として議論を交わしました。



▲パネルディスカッション1の様子



▲パネリストのみなさん。左から、京都橘大学非常勤講師 森下恵介氏(奈良県担当)、京都市文化財保護課係長 堀大輔氏、日光市文化財課係長 北山建穂氏、堺市博物館学芸員 白神典之氏。



▲モデレーターを務めたのは、斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課参事の平田政彦氏。

## パネルディスカッション2

### いま 現在を知る 歴史・文化遺産都市を支える『まちづくり』

歴史・文化遺産都市としての「斑鳩」が、その価値を失わせることなく、将来世代にいかにその魅力や価値を引き継いでいくべきか、またそのために必要な「まちづくり」とは何かについて、それぞれの立場から議論を交わしました。



▲モデレーターを務めたのは、帝京大学経済学部教授／奈良県立大学名誉教授の麻生憲一氏。



▲パネリストの法隆寺執事長 大野正法師(左)と斑鳩町教育委員会教育長 山本雅章氏(右)。



▲パネリストの奈良県観光局長 谷垣裕子氏(左)と(株)JTB総合研究所主席研究員 熊田順一氏(右)。

## サミット会議(オープニング・開会式)



▲斑鳩小学校能楽金剛クラブのみなさんが能演舞を披露。斑鳩町立斑鳩小学校では、校区内に能楽「金剛流発祥の地」の石碑があり、日本の伝統文化でユネスコの無形文化遺産である「能」を学習しています。



▲第10回世界遺産サミットin斑鳩実行委員会会長で斑鳩町長の中西和夫による開会式での開催地あいさつのようす(中央)。このほか、世界遺産サミット発起人の参議院議員 鶴保庸介氏、共同主催者の観光庁次長 加藤進氏と奈良県文化・教育・くらし創造部長 舟木豊氏が登壇。また、来賓として、経済安全保障担当大臣 高市早苗氏、法隆寺管長 古谷正覚師、奈良県議会議長 岩田国夫氏、斑鳩町議会議長 中川靖広氏が登壇。

## 法隆寺法話



▲聖徳宗第7代管長／法隆寺第130代住職  
古谷正覚師

法隆寺管長 古谷正覚師による法話では、法隆寺が建立された背景や十七条憲法から、現代社会においても聖徳太子が唱えられた「和の精神」が、平和な社会の実現において必要なことではないかと説かれました。



古谷正覚師による法話のようす ▶



## 講演

未来を創る

持続可能な観光を考える～文化遺産とツーリズム産業からの視点～



▲株式会社JTB代表取締役社長執行役員／UNWTO賛助  
加盟会員アジア太平洋地区代表理事 山北栄二郎氏

株式会社JTB代表取締役社長執行役員の山北栄二郎氏の講演では、国内外の世界遺産を活用した観光の取り組み事例や、国連世界観光機関(UNWTO)における取り組みの紹介など、グローバルな視点から文化遺産を活用した持続可能な観光について提言いただきました。



山北栄二郎氏による講演のようす ▶

## 首長会議・サミット宣言

世界遺産が所在する9自治体の首長が集まるとともに、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」で世界遺産登録を目指す明日香村村長が特別参加し、世界遺産を活用した取り組みについて意見交換を行いました。

最後に「2023世界遺産サミット『斑鳩宣言』」が採択され、世界遺産を核とした持続可能なまちづくりの実現を目指すことが確認されました。



▲首長会議のようす。左から、司会進行を務めた世界文化遺産地域連携会議 井戸智樹氏、平泉町長 青木幸保氏・日光市長 粉川昭一氏・富士宮市長 須藤秀忠氏・奈良市教育委員会教育長 北谷雅人氏・斑鳩町長 中西和夫・吉野町長 中井章太氏・天川村長 車谷重高氏・高野町長 平野嘉也氏・姫路市長 清元秀泰氏・明日香村長 森川裕一氏。



▲サミット宣言▶





## 総合司会



▲協坂京子氏


本サミット2日間の総合司会を務めていただいたのはこの方。新幹線に乗ったことのある方は、一度は聞いたことあるあの声、東海道・山陽・九州・西九州新幹線の車内アナウンスの声でおなじみ協坂京子氏。



会場には、みなさん聞きなじみのある“あの声”が響いた。▶

「法隆寺地域の仏教建造物」世界遺産登録30周年記念  
第10回世界遺産サミットin斑鳩



Visiting Old, Learn New  
 斑鳩町